

岩手ようごの会 第3回実践交流会の報告&第4回のご案内

平成27年7月10日

岩手ようごの会 代表 堀籠ちづ子

「岩手ようごの会」第3回実践交流会は、平成27年6月20日（土）に開催しました。今回のテーマは、「定期健康診断 私の工夫」。健康診断がほぼ終了するこの時期、実践や工夫の熱い時に、ご参加の皆様で実践を交流しました。当日は15名の参加をいただき、フレッシュな先生方のご参加で活気ある交流会となりました。その様子を報告します。

実践交流会の様子

【話題提供】 テーマ・・・「特別支援学校における視力検査の実際と工夫について」

子ども、一人ひとりの発達に応じた視力検査の工夫と改善を毎年考察しながら実践している様子を紹介いただきました。発表後には質疑応答をして実際と工夫を共有、終わりに振り返りを行いました。

【実践交流】

参加者の皆さんは、校種別グループに分かれて健康診断実施に関する自身の実践や工夫を記入する作業からスタート。内容は、①改善・解決例 ②課題が残った例 ③参加者に聞いて帰りたい例の3種類についてカードに記入し全員で発表、その後記入カードをグループ化して整理し、実践交流を行いました。



** カードに記入・発表した実践、工夫と課題 抜粋 **

小中学校・特別支援学校グループ

- ・健康診断事前指導の工夫 ・健康診断で子どもたちが動かないで検診に集中できる、正確に受検・測定できる工夫 ・低学年の発達段階と検診助動や視力測定の工夫
- ・検診器具の消毒（歯科・耳鼻科・視力等）の課題 ・検診機関による受検説明は、機関任せにしない。子どもの側に立った指導の工夫が必要 ・尿検査一次の検体回収率を高める工夫と二次の指導 ・学校医との打合せの工夫 ・内科検診受検時の服装指導は？ ・受検結果の正確な記録の工夫は？ ・未受検者の受検は？ ・色覚検査の再開先取り ・仮設校舎における検診の難しさ 等々

高等学校グループ

- ・健康診断を受検する際の態度や私語を無くする工夫
- ・各種健康診断の事前指導の工夫と効率的な検診の進め方、生徒に応じた細かな工夫の様子
- ・内科や心臓検診など女子の服装指導が難しい、その工夫
- ・尿検査一次の回収率の高め方と二次の指導の仕方
- ・健康診断を学校行事として実施していく校内体制作りの工夫 ・円滑な進行のため保健厚生担当者による打合せ
- ・年間健康診断計画の提示と直前の実施要項のタイミングは？ ・健康診断時の体調不調者の対応は？
- ・生徒保健委員の協力の得方は？ 等々

◀ まとめとアンケートからの感想 ▶

第3回実践交流会のまとめ

- ・健康診断を円滑に正確に実施するためには、児童生徒が健康診断に集中できる環境整備の工夫が欠かせない。
- ・健康診断のねらい達成のためには事前指導徹底の工夫が求められる。 ・子どもの発達段階に応じた工夫が大切である。 ・健康診断の実施には学校組織で動くことが重要である。 ・定期健康診断後の記録を残して評価し、必要な課題解決を行う実践活動の継続が大切である。 等

感想 (抜粋)

- ☆Aさん・・・ずっと疑問に感じて悩んでいたことがあったので、沢山のアドバイスをいただき本当に良かった。
- ☆Bさん・・・自分が流れ作業になっていることが分かった。子どものことを考えて検診したい。
- ☆Cさん・・・今日、参加して気分が明るくなりました。またがんばれそうです。
- ☆Dさん・・・改めて健康診断を振り返ることで反省も見えてきました。世代を超えて課題を出し合うことって大切だと思いました。

お知らせ

第4回 実践交流会のご案内

お申し込みは不要です。直接、会場にお越しください。

- *日時 場所:平成27年8月29日(土) 10:00~12:30 *場 所:アイーナ6F 団体活動室3
- *テーマ 「保健指導に活かす 保健だより」・・・修学旅行や体育大会等の学校行事を始め、様々な機会に実施している保健指導。第4回は、保健指導で使用する「保健だより」の作成と活用について実践を交流していきます。現職の方はご使用の保健だより1部を持参お願いします。保健指導の題材は問いません。ご参加、お待ちしております。